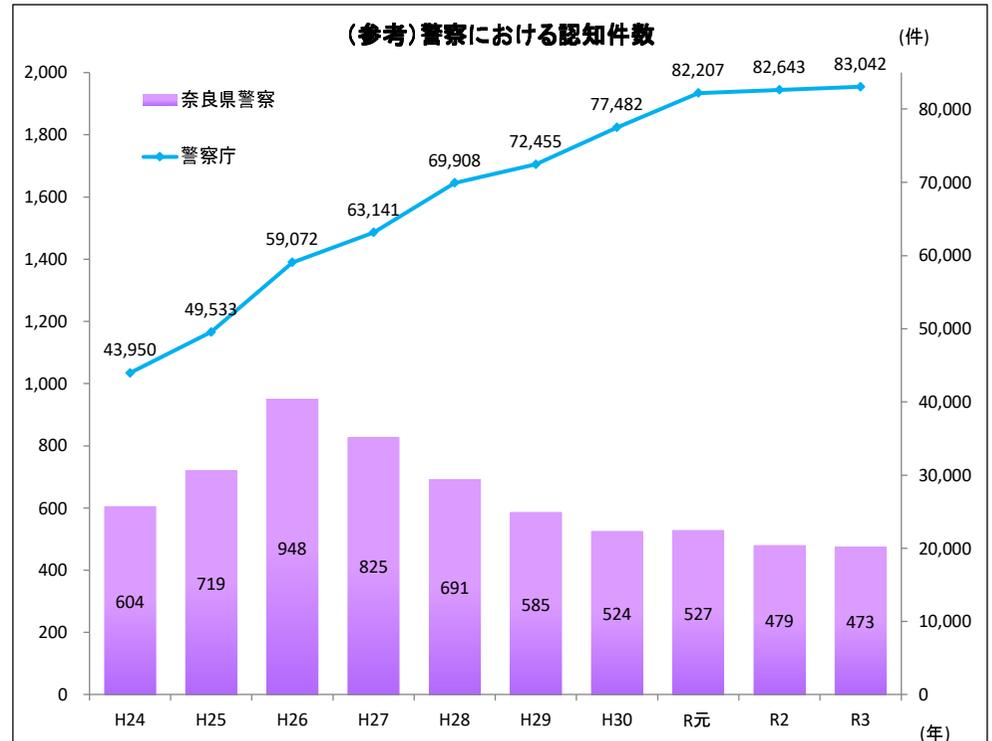
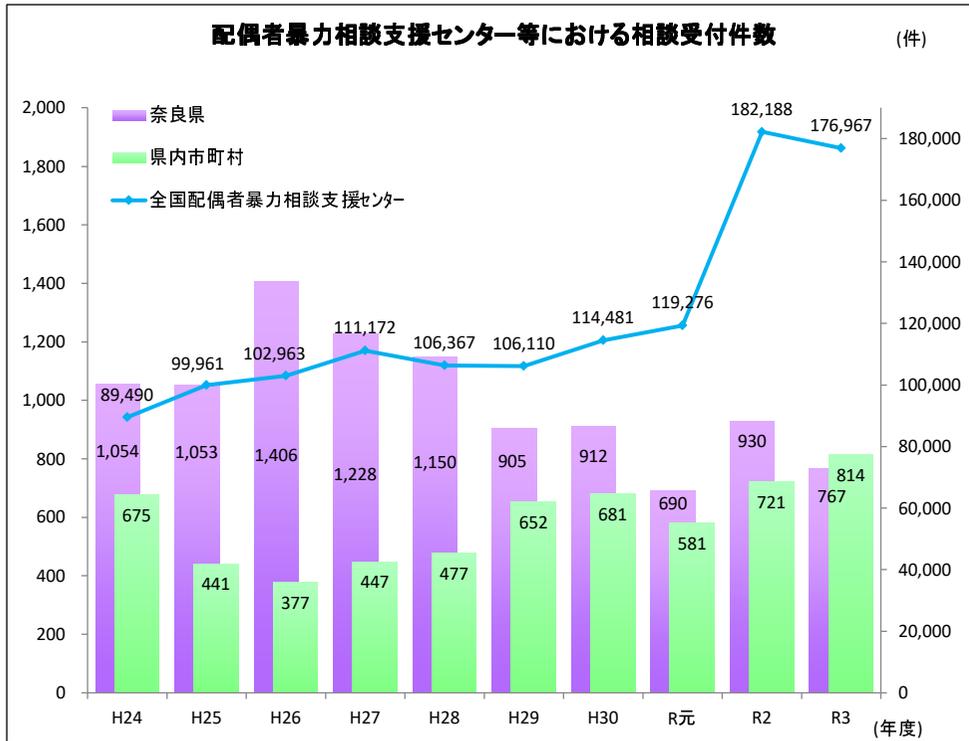


令和3年度奈良県のDV相談の状況

資料1



・奈良県における令和3年度の相談受付件数は、767件であり、前年度に比べ、163件（17.5%）減少した。

※奈良県数値は、中央こども家庭相談センター（配偶者暴力相談支援センター）、高田こども家庭相談センター、女性センターの合計。

※全国配偶者暴力相談支援センターの相談受付件数については、R2年度より開始された「DV相談プラス」での相談件数を含む。

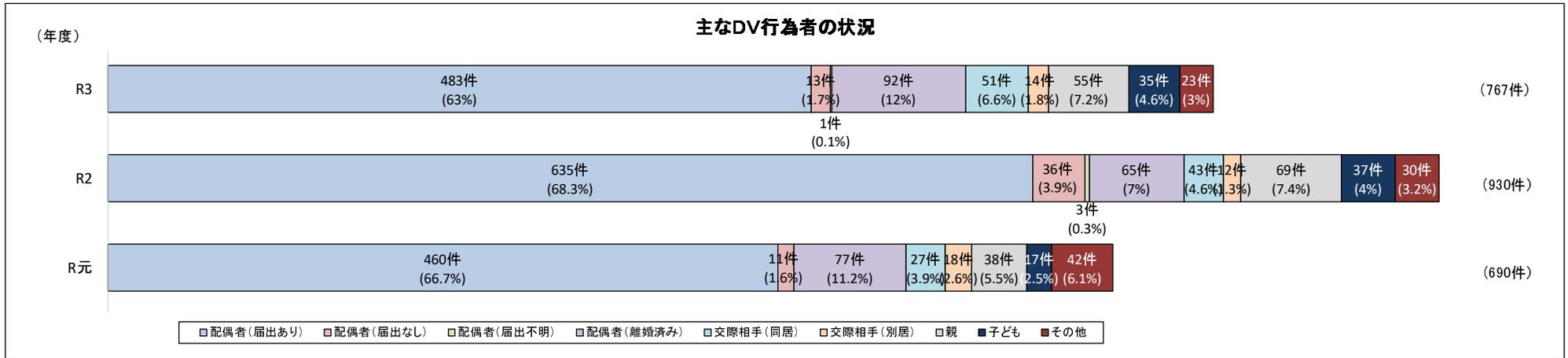
参考添付：警察における認知件数

・奈良県警察における令和3年の認知件数は、473件であり、前年に比べ、6件（1.3%）減少した。

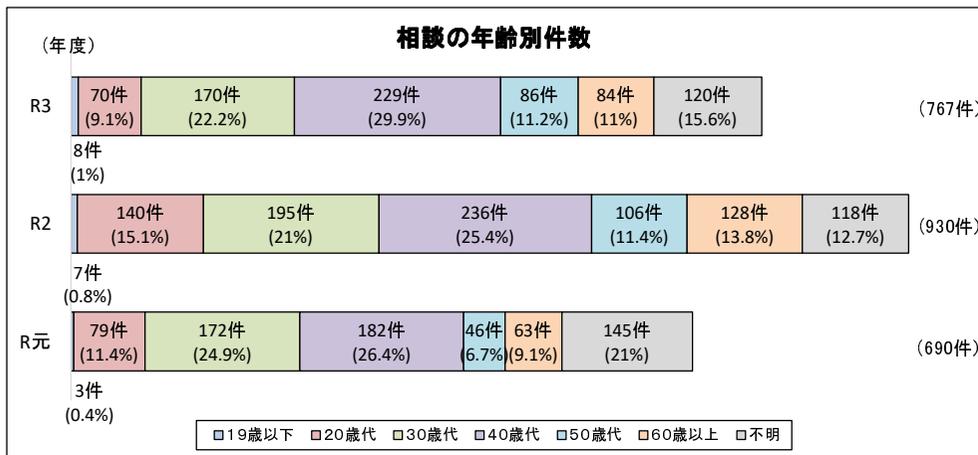
・警察庁（全国警察認知件数の合計）における令和3年の認知件数は、83,042件であり、前年に比べ、399件（0.5%）増加した。

※警察における認知件数は、当該年の1月～12月における認知件数の合計。

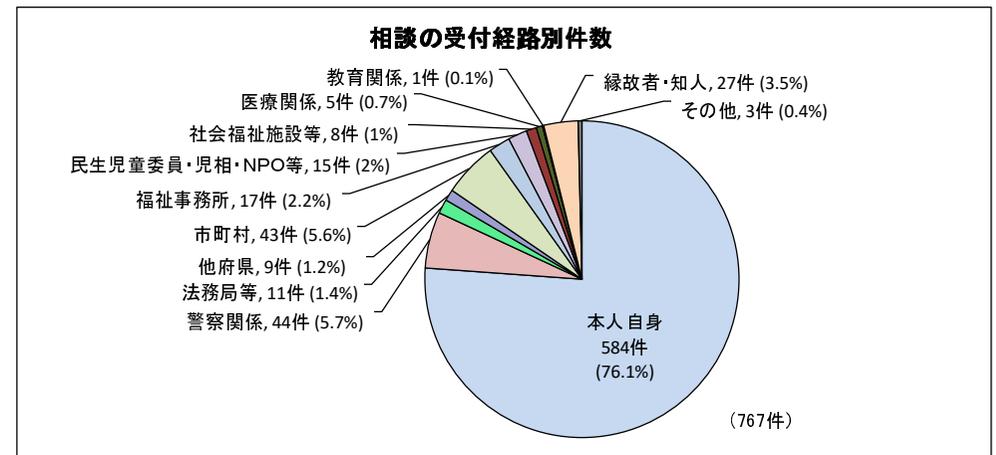
○奈良県が受付したDV相談件数の状況



- ・奈良県における令和3年度の相談の主なDV行為者は、「配偶者（婚姻届出あり）」が483件（63%）で最も多く、次いで「配偶者（離婚済み）」が92件（12%）であり、次いで「親」が55件（7.2%）。
- ・前年度と比較すると、「配偶者（婚姻届出あり）」が152件減少し、「配偶者（離婚済み）」が27件増加した。



- ・奈良県における令和3年度の相談の年齢別件数は「40歳代」が229件（29.9%）で最も多く、次いで「30歳代」が170件（22.2%）と半数を占めるが、すべての年代からの相談がある。
- ・前年度と比較すると、「20歳代」が70件、「60歳以上」が44件減少した。



- ・奈良県における令和3年度の相談者の受付経路は「本人自身」が584件（76.1%）で最も多く、次いで「警察関係」が44件（5.7%）。